

令和7年度 第2回「検討の場」議事概要

日時：2025年12月9日（火） 13:30～15:30

場所：鹿児島森林管理署会議室

出席者：

- 【環境省】渡邊課長・園田自然保護官（九州地方環境事務所国立公園課）、竹中首席企画官・壇辻自然保護官（屋久島自然保護官事務所）
- 【林野庁】山下課長・宮崎自然遺産保全調整官（九州森林管理局計画保全部計画課）、高木課長・飯星野生鳥獣管理指導官（同計画保全部保全課）、野邊署長・歌野森林技術指導官・野田森林整備官（屋久島森林管理署）
- 【鹿児島県】牛之濱野生生物係長（Web）・米森技術主査（環境林務部自然保護課）
- 【屋久島町】真辺主査（産業振興課）
- 【受託者】中村主任技師・高橋専門技師・福田専門技師（日本森林技術協会）

配布資料：

- ・令和7年度第2回「検討の場」 表紙、出席者名簿
- ・令和7年度第1回ヤクシカ WG 合同会議における主な助言・意見等に対する今後の取組方向（資料1）
- ・九州森林管理局 委託調査事業（資料2－1）
- ・植生の保護・再生手法の検討（資料2－2）
- ・令和7年度の取組概要（資料3－1）
- ・令和7年度シャープシューティングの体制によるヤクシカの捕獲実施計画（資料3－2）
- ・令和7年度の屋久島西部地域における計画捕獲の実施結果（速報値）（資料3－3）
- ・改訂屋久島世界自然遺産地域モニタリング計画（資料4－1）
- ・調査内容等が明確でないモニタリング項目（評価指標）の具体的検討について（作成中）（資料4－2）

議題

- 1 「令和7年度第1回ヤクシカWG合同会議における主な助言・意見等に対する今後の取組方向」の確認について【資料1】
- 2 九州森林管理局委託事業について【資料2-1】【資料2-2】
- 3 環境省における令和7年度の取り組みについて【資料3-1】【資料3-2】【資料3-3】
- 4 その他【資料4-1】【資料4-2】

■議題1 「令和7年度第1回ヤクシカWG合同会議における主な助言・意見等に対する今後の取組方向」の確認について【資料1】

令和7年度第1回合同会議における主な助言に対する今後取組方向の確認については、回答欄に基づき各機関においてご対応いただきたい。

<意見・質問等>

- ・ 2ページ 「資料5-2 アブラギリの分布」 ※以下の文章
→削除する。(九州森林管理局保全課)
- ・ 3ページ 「資料5-3 タヌキの生態系への影響」 屋久島町の回答が未記入
→改めて回答する。(屋久島町)

■議題2 九州森林管理局委託事業について【資料2-1】【資料2-2】

資料に基づき事業概要を受託者である日本森林技術協会から説明し、その後質疑応答。

<主な説明内容>

例年の委託調査に加えて、8月28日から1ヶ月間、中間林道でくくりわな20基を使用してヤクシカの捕獲を行った結果を報告。また、委託調査内容のうち、湿原におけるヤクシカの生態調査について自動撮影カメラ調査や糞塊調査の調査実施箇所や調査結果の途中経過、及び植生保護柵・マテバシイ萌芽枝保護柵の点検と、終了した分の柵内外植生調査・マテバシイ調査結果を説明。

<意見・質問等>

- ・ 特になし

■議題3 環境省における令和7年度の取り組みについて【資料3-1】【資料3-2】【資料3-3】

資料に基づき事業概要を環境省から説明し、その後質疑応答。

<主な説明内容>

シャープシューティングの体制によるヤクシカの捕獲実施計画については、実施箇所（カンカケ林道の 5 箇所）、実施方法（テントで待ち伏せによる捕獲）、実施体制、実施手順について主に説明。西部地域における計画捕獲については、実施箇所、エアライフルによる止め刺し（アニマルウェルフェア）、錯誤捕獲対策、計画捕獲の実施結果（速報値）等を説明。また、糞塊法（環境省）・糞粒法（鹿児島県）の相違を考慮した報告について、鹿児島県と調整中である旨の報告。

<意見・質問等>

・特になし

■議題 4 その他 ①【資料 4－1】【資料 4－2】

① 改訂屋久島世界自然遺産地域モニタリング計画について、資料に基づき事業概要を環境省から説明し、その後質疑応答。

<主な説明内容>

午前の幹事会でも議題にした内容。改訂モニタリング計画が本年度 5 月に完成されている。項目はまとまっているが、新たに始まるものや考え方を変えたモニタリング項目については、具体的に誰が何をするのかが未定で、中身を調整している。科学委員会で議論し、令和 8 年度までにとりまとめ、令和 9 年からそれに基づいてモニタリングを開始したいということを前回のヤクシカ WG で説明した。自然景観、外来種、利用に関するもののうち、ヤクシカ WG では外来種について議論し、タヌキやアブラギリ、オキナワキノボリトカゲについて整理した。これらの結果を踏まえて、これから何をやっていくか、ヤクシカ WG のメンバーから意見を出してもらうことが主眼である。

<意見・質問等>

・アブラギリは近年、取り組みを行っていない。根絶することは困難である。陽樹なので高木で鬱蒼とした遺産地域には侵入してこない。西部地域は台風による倒木によってできたギャップにアブラギリが侵入してきたので、台風等により倒木が発生しギャップが発生した際に注意が必要である。（屋久島森林管理署）

・タヌキはヤクシカ WG で話題に挙がったが、ヤクシカ対策を議題とする本来の主旨から外れるのではないかと。外来種についてはアブラギリを科学委員会で議論しているように、科学委員会で取り上げてもらったほうが良いのではないかと。（九州森林管理局保全課）

② 屋久島学ソサエティ（12 月 13 日（土）、14 日（日）開催）

屋久島における野生動物の狩猟と捕獲というテーマで行われる。狩猟者に、今後はどうしていくか等のアンケートをとっており、今後の屋久島の狩猟をどうしていくか 4 つくらいの発表がある。

会場は屋久島町役場で 13 時 30 分から。Web（会員外の場合は有料、1000 円。会員になると一口 2000 円）でも行われる。今回は鈴木正嗣委員も発表される。

③ 連絡事項

○ヤクシカ WG

令和 8 年 2 月 5 日（木）、14:00～17:00、宝山ホール（鹿児島市）

12 月 11 日に開催通知のメールが日本森林技術協会から届く。出欠の確認が 12 月 26 日までとなっているので、期限までに出席者のご連絡をお願いしたい。

○矢原委員長への事前説明会

令和 8 年 1 月 21 日（水）、13：30～15：00 まで Web 方式で予定

資料の提出は令和 8 年 1 月 13 日（火）までにお願いしたい。

○プレスリリース

令和 8 年 1 月 30 日（金）

○2 月 5 日のヤクシカ WG 終了後は、会議の議事概要がメールで送信されるので、担当者は内容を確認の上、早めに返信をお願いしたい。

○本日の会議の議事概要についてはメールで送信するので修正があればお知らせいただきたい。

以上